

SORA

web magazine 2013.jun. vol.16

Photo & Text : Kentaro Hosoda

MALDIVES

ダイバーの楽園、モルディブを潜る

ジンベエザメを筆頭に、マンタやハンマーなどの大物に出会える海モルディブ。
ダイブサファリ良し、リゾート良しのダイバーの楽園を潜る。

MAP
CLICK!

tsumi-shima tsumishima.com
ダイバーの夢をつみあげていく島



(株)ワールドツアープランナーズ
www.wtp.co.jp

© 2012
World Tour Planners Co., Ltd.
All Rights Reserved.



SURPRISE 驚き

MALDIVES
モルディブ

ジンベエザメに 高確率で出会える海

ジンベエザメは最大で体長18mにもなると言われる世界最大のサメだ。この魚はダイバーが最も会いたいと思う魚のひとつなのではないだろうか。一昔前はよっぽどラッキーでないと会えなかったジンベエだが、モルディブではリサーチが進み、現在は遭遇率9割以上と非常に高い確率で会えるようになった。ジンベエに会いたかったらダイブサファリがベストな選択だろう。なぜなら船に寝泊まりしてダイビングをするサファリなら、南北マーレ、アリ、ラスドゥ環礁など各環礁を巡り、その時期で一番いいポイントを潜れるからだ。

ジンベエザメを見るには、サファリポートでジンベエが出現する確率が高いエリアをサーチし、見つけたらボートからスノーケリングで海に飛び込むスタイルをとる。ジンベエザメの巨体を間近で見ると「こんなに大きな魚がいるんだ」と本当に驚く。巨体に似合わないクリっとした小さな目で、時々、こちらを見るのが可愛い。ジンベエザメはスノーケリングで見られることが多いが、運が良ければスクーバダイビングでも出会えることがある。突然、巨大な生き物が海の中から現れてきた時は、震えるような感動が体中を駆け巡った。こんな驚きのプレゼントをくれるモルディブは、とてつもなく海が豊であると感じずにいられない。



MALDIVES
モルディブ



夢の大物3種遭遇コンプリート

モルディブのダイブサファリでは、ジンベエザメだけでなく、ハンマーヘッドシャークやマンタの遭遇率も高い。これらの3種類の大型生物が見られれば、「夢の大物3種に遭遇達成!」となる。ハンマーヘッドは、マンタやジンベエに比べるとやや遭遇率は落ちるが、それでも可能性が高いことは確か。マンタに関してはほぼ100%という驚くような数字だ。

これらの大型生物を狙うにはやはりダイブサファリが外せない。リゾートは快適なリゾートライフを過ごすには最高だが、ダイビングポイントはどうしてもリゾートを中心としたエリアに限られてしまう。サファリであれば環礁をまたいで、大型生物が出現する確率が高いベストなポイントをセレクトしてくれる。さらに、雨季、乾季によっても、季節にあったベストなポイントを潜れるのが最大のメリットだ。

水中で自分よりも大きな生物に出会う感動はなにものにも変え難い。「ダイバーになってよかった」と心の底から思える喜びがモルディブにはある。



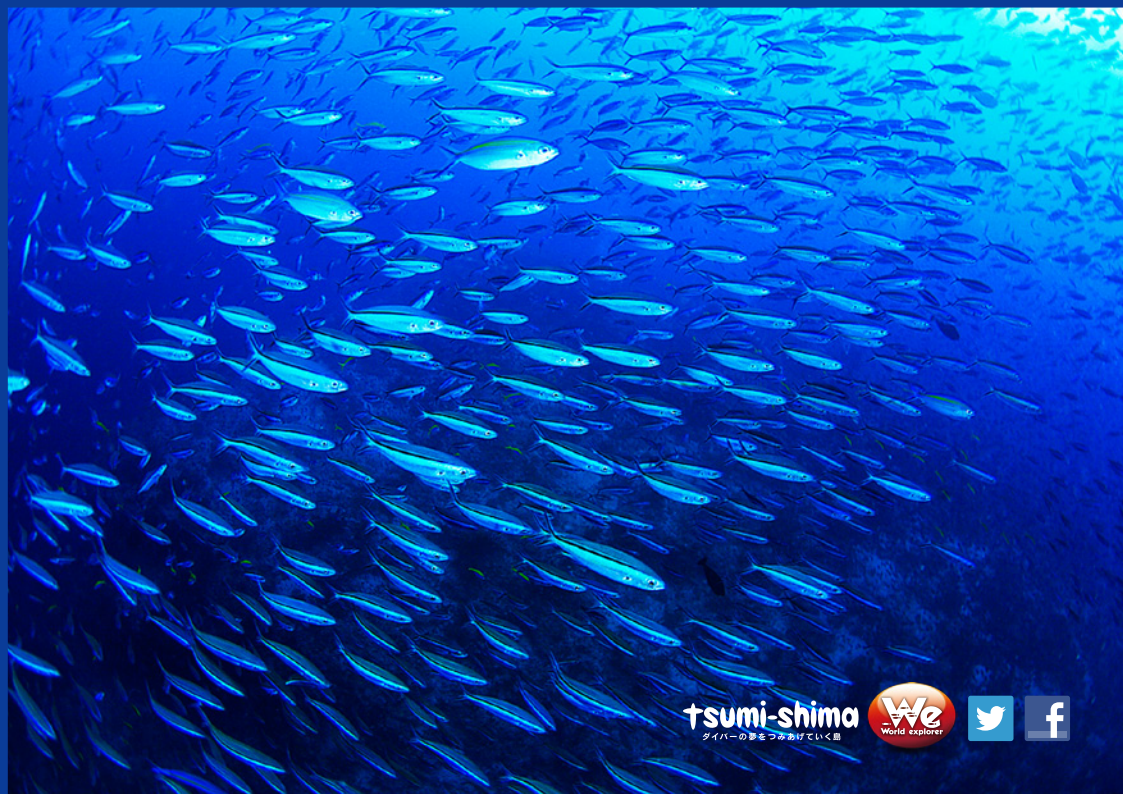
流星群のようなイエローバックフュージュラー



色彩に満ちたモルディブの海

モルディブの水中は色彩に満ちた美しい世界が広がっている。ヨスジフェダイやキンギョハナダイが何十、何百匹と群れている姿には圧倒される。また、コラーレバタフライフィッシュ、インディアングラントなどインド洋固有種が群れる姿も見どころのひとつ。さらにイエローバックフュージュラーが、まるで黄色い流星群のように泳ぐ姿は見とれてしまうほど綺麗だ。とにかく魚の数が桁外れで圧倒される。ドロップオフの壁面を覆うカラフルなソフトコーラルは、赤や紫、ピンクなど様々なカラーバリエーションが見られ、ダイバーの目を楽しませてくれる。モルディブの水中は鮮やかな色彩に満ちているので、ぜひ味わっていただきたい。

MALDIVES
モルディブ



tsumi-shima
ダイバーの夢をつみあげていく





目の前で乱舞する無数のマンタ

MALDIVES
モルディブ

R ロマン ROMANCE

大人の贅沢な休日が 過ごせる島

1つの島に1つのリゾートがほとんどのモルディブは、全部で1200あまりの島のうち、約100の島がリゾートになっている。素朴なローカルコテージから、超高級リゾート、水上コテージまで自分好みの島が自由にチョイスできるのが嬉しい。リゾートによって特徴が異なるので、自分好みの島を探すのがまずスタート。島の周囲を360度海に囲まれたリゾートでは、ハウスリーフでダイビングが楽しめる。リゾートによってはビーチからエントリーすると浅瀬でコバンアジが出迎え、リーフエッジのドロップオフでは、ナポレオン、マダラトビエイ、カメ、ギンガメアジ、果てはマンタまでが回ってくるという、ダイバー垂涎のロケーションが広がっていたりする。

リゾートの滞在は、のんびり、ゆったりとした時間が過ごせる。水上コテージに備えられたオープンエアのお風呂に浸かりながら青く抜けた空を眺める。周囲は静まりかえり、聞こえてくるのはチャブチャブという波の音だけ。目の前にはエメラルドグリーンの海と水平線が広がっている。まるで時間が止まってしまったかのように、体の芯までリラックスされていく。さらにスパのジャグジーで体をほぐし、アロマオイルでマッサージをしてもらえば究極の癒しモードへ。ディナーはちょっとドレスアップして、ホワイサンドが敷き詰められたレストラン行けば、きっとロマンチックな一時が楽しめるだろう。誰もが夢見るようなリゾートライフがたっぷり満喫できるモルディブは、大人の贅沢な休日を過ごすには最高のロケーションなのだ。

MALDIVES
モルディブ



A 行動 ACTION



MALDIVES
モルディブ



インド洋の宝石と 讃えられるモルディブ

モルディブの島々は環礁と呼ばれるサンゴ礁で作られている。まず、元々火山島だったところの周囲にサンゴ礁が形成された。そして何万年という時間をかけたプレート運動によって中央の火山島が海面下に沈降し、周囲のサンゴ礁のみ環状のネックレスのようになって隆起し海面に残るといったのが、かのチャールズ・ダーウィンの沈降説。モルディブは26個の環礁があり、約1200の島々からなっていて、空から海を眺めると環礁がネックレスのように浮かんでいる。これがインド洋の宝石と呼ばれる所以なのだ。



小さな島のリゾートで、椰子の木の下でのんびりしてもいいし、ダイブサファリでモルディブの海を縦横無尽に巡り、マンタ、ジンベエなどの大物三昧を満喫するのもいい。ダイバーの楽園モルディブを、是非たっぷりと楽しんでいただきたい。

Information

●国名：モルディブ共和国 ●ビザ：30日以内の観光目的であれば、到着時に無料でビザが発給される。●パスポート：パスポートは、有効残存期間は滞在日数以上が必要。●言語：ディベヒ語。リゾートでは英語が通じる。●通貨：モルディブ・ルフィア (Rf) ●時差：日本よりマイナス4時間。日本が正午の時、モルディブは同日の午前8時。●電圧：220～240v/50Hz。プラグはBFタイプ。●水：ミネラルウォーターの飲用を。●アクセス：日本からモルディブの首都マレへは成田発の直行便で約10時間。経由便は、コロンボ経由、シンガポール経由、クアラルンプール経由、バンコク経由などがある。

tsumi-shima
ダイバーの夢をつみあげていく

